

まず、子どもたちを幸福にしよう。すべてはそのあとに続く。



ナレーション
吉岡秀隆

2020年に文部科学省の学習指導要領が「探求学習」に大きく舵を切りました。30年も前から「探求学習」を実践する認可校が「きのくに子どもの村学園」です。子どもの村学園に長期取材したドキュメンタリー映画『夢みる小学校』に、中学生パートを追加撮影した『夢みる小学校・完結編』の登場です！文部科学省選定映画『夢みる小学校』が、さらにアップデートしました。



エンディングテーマ
THE BLUE HEARTS 『夢』

ナレーションは、吉岡秀隆。エンディングテーマは ザ・ブルーハーツの『夢』。監督は『いただきます』『夢みる校長先生』『夢みる給食』のオオタヴィン監督。わくわくするシーンの連続、童心にかえったような初々しい感動。不登校生徒数が30万人に達し、日本の公教育が大きく揺れている今こそ、あなたの町の学校を変えるヒントを、この映画からみつけてください♥

監督:オオタヴィン 制作:まほろばスタジオ 2024年/本編95分/監督トーク映像10分

映画出演者コメント

子どもも楽しい、
教師も楽しい。
楽しくなければ
「学校」じゃ
ありません。



堀 真一郎
(きのくに子どもの村学園園長)

体験学習は、
AI時代に適応した
”脳のOS”を
つくります



茂木 健一郎
(脳科学者)

この映画は、
「教育の本質」を
みせてくれます。



尾木 直樹
(教育評論家)

ここでは、
民主主義の原点
があります。



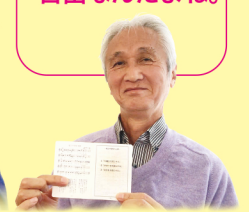
高橋 源一郎
(作家)

人生は
「問い」
の連続です。



辻 信一
(文化人類学者)

校則ゼロ。
公立学校も、
実は、
自由なんだよね。



西郷 孝彦
(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

主催者の想い

私たちは『子どもをど真ん中においてよりよい社会をつくる』必要を感じています。

子ども達に自分であることを喜んで生きてもらいたい、希望を持って勇んで生きてもらいたい。そんな世の中を作っていきたいと私たちは願っています。

その為に子ども達の内にある基本的自尊感情を育み、子ども達の自ら生きようとする主体性、自ら学ぼうとする意欲や探究心を大切にする場が必要です。まずは大人が学びの意味や本質を問い直し、学校教育を時代にふさわしく変えていく方策を探っていきませんか？